

様式第1号 政務調査費収支報告書 (条例第8条①、②)

平成25年 3月19日

上ノ国町長 工 藤 昇 様

議員名 京谷 作右衛門



平成24年度政務調査費に係る収支報告について

上ノ国町政務調査費の交付に関する条例第8条第1項(第2項)の規定により、別紙のとおり平成24年度政務調査費収支報告書を提出します。

政務調査事業報告書

1 事業名

調査研究事業

2 事業内容

平成25年1月28日～30日

東日本大震災の被災地視察と復興状況について

3 成果

1月28日、松島町

松島瑞巖寺は修理中で、この度の津波により海水が正門を抜け本堂の近くまで上がり、その為に杉林が塩害により半分近く伐採されたことにより、周囲はすっかり明るくなっていた。

松島町の被災地を視察。がれき処理はされていましたが、後の復興は進んでいなかった。町の話では、湾内に小島が一杯あった為に防波堤の役目をしたので、他の地域より被害が少なかったそうです。

1月29日、石巻市・女川町・志津川町・南三陸町・気仙沼市

各市町とも大変な被害で、どの漁港も使用できない状況にありながらも、漁師根性で漁を行っており、港の市場に行ったら漁を終えて場所一杯に真ダラが並んでいた。宮城県漁業協同組合志津川支所運営委員長の佐々木さんに話を聞いたところ、当初は風評被害で大変であったそうですが、漁業者の若手グループが一体となり週1、2回集まって、これからの対策を話し合い頑張っているそうです。当支所では、養殖事業が主なる生産物で銀ザケ・ホタテ・カキ・ワカメなども徐々に元に戻って来ているそうです。この度の津波で、養殖施設の被害も大変なものでしたが、津波により今まで海底にあった残物がすっかり掃除され、これからは良い漁場になると話しておりました。

南三陸町では、テレビ等でよく報道されていた防災センターが被害にあったそのまま残されておりました。そこには、沢山の方々が供養に訪れ手を合わせておりましたので、私達四人もお参りさせていただきました。

1月30日、大船渡市・陸前高田市

気仙沼市では、港など大きな被害を受け工事関係者が何組か復旧工事をしていました。そこには、テレビ等で映っていたあの大きな船が町の真ん中まで押し流されそのままの状態になっていた。話を聞きますと「後世」にこの事で移動をしないそうです。

陸前高田市は、市全部が流され山近くの方面ではまだがれきの処理を

注) 1 事業名には収支報告書の、2 支出の科目区分により記入する。

(例～〇〇調査研究、〇〇研修、〇〇会議、〇〇地区広聴・・・等)

2 事業内容及び成果には、具体的な内容とその成果を記入のこと。

別記様式

しており、松林もどこにあったのかまったく見当がつかない状態でありました。また、どこの町も市も、まだ家の土台とアスファルトの道路だけです。現実を見てそして聞く、自然災害の恐ろしさに今一度、対策が必要と思われます。

- 注) 1 事業名には収支報告書の、2 支出の科目区分により記入する。
(例～〇〇調査研究、〇〇研修、〇〇会議、〇〇地区広聴・・・等)
- 2 事業内容及び成果には、具体的な内容とその成果を記入のこと。





